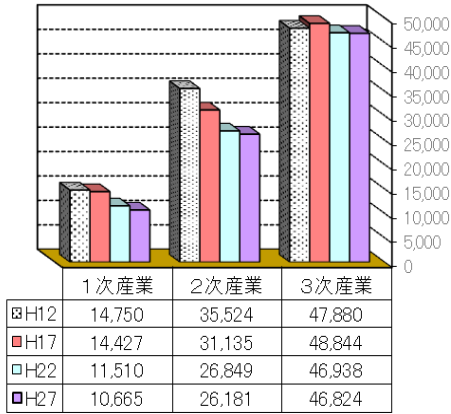


## 4 産 業

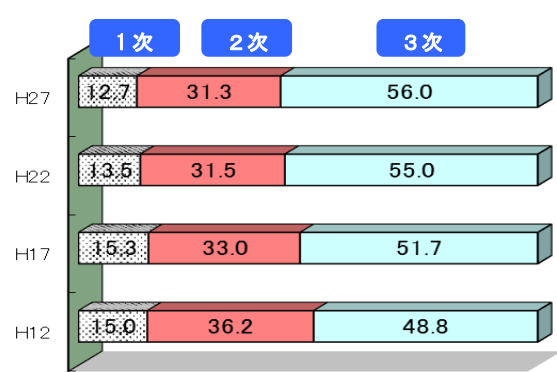
### (1) 産業別人口

産業従事者は約8万4千人で、第3次産業が56.6%・第2次産業が31.3%・第1次産業が12.7%となっていますが、「ものを生み出す」産業従事者が減少してきています。

【産業別従事者数】



【同構成比】



※「国勢調査（都道府県・市区町村別統計表）」より

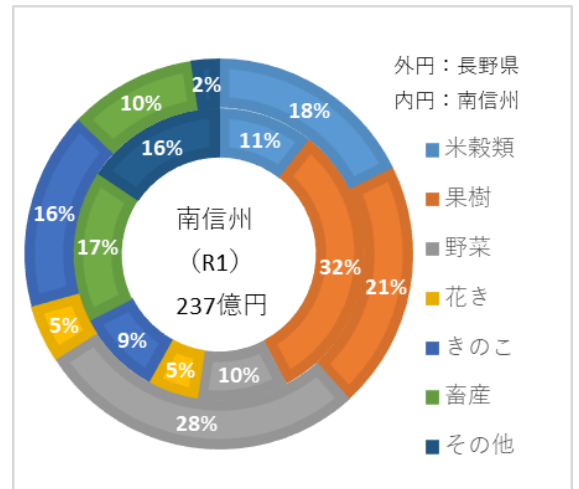
### (2) 農 業

地形的には中山間傾斜地が多く、一戸当たりの耕地面積は80.2aと県平均113.4aより小規模ですが、温暖な気候と標高差を活かし、多種多様な作物が生産されています。

農産物産出額は、果樹・畜産が全体の約5割を占めており、農産物の加工やグリーン・ツーリズム等、農業・農村資源を活用した取組みも見られます。

また、「市田柿」は、地域と結び付き、品質基準を満たす農産物等の名称を知的財産として保護する「地理的表示（GI）保護制度」に登録されたことを契機に、更なるブランド構築及び輸出拡大を目指して取り組んでいます。しかし、年々就業者の高齢化が進んでおり、園地継承や担い手の確保、育成が課題となっています。

【部門別農産物産出額比率】



※「令和元年産農産物産出額等実績」より

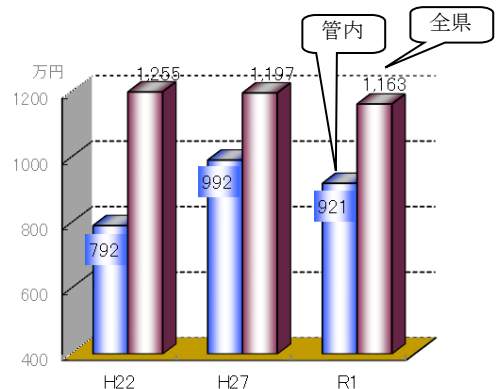
(3) 工 業

管内は、部品の加工や組立を行う企業が多く、令和元年の製造品出荷額等は3,520億円、従業員1人当たりの粗付加価値額は921万円となっています。

また、当地域の水引・凍豆腐・半生菓子等の特色ある地場産業は、国内の高いシェアを占めています。

そのほか、当地域では、成長が期待される航空宇宙産業の集積にも取り組んでいます。県が策定した「長野県航空機産業振興ビジョン」では、当地域が振興の中核拠点と位置付けられ、人材育成、研究開発及び環境試験などが実施されています。

【従業員一人当たりの粗付加価値額】



※「工業統計調査(統計表4表)」より

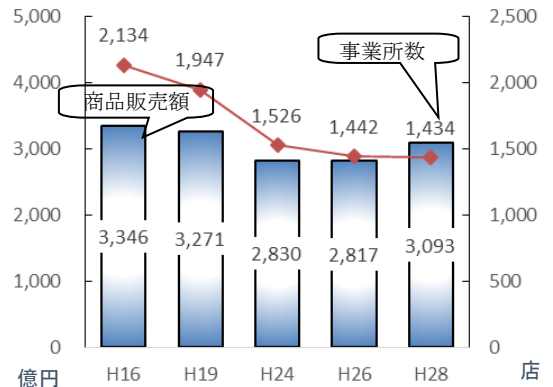
(4) 商 業

管内の卸・小売業の年間商品販売額は3,093億円、小売業の事業所数は1,434店です。

なお、店舗面積1,000㎡超の大規模小売店舗は、令和3年3月末現在で37店舗となっています。

市町村別では、飯田市が年間商品販売額全体の80%を占めています。松川町、高森町を含めると93%となり、当地域全域が飯田市を中心とする第1次商圈に包括されています。

【年間商品販売額・事業所数】



※「商業統計」「経済センサス」より

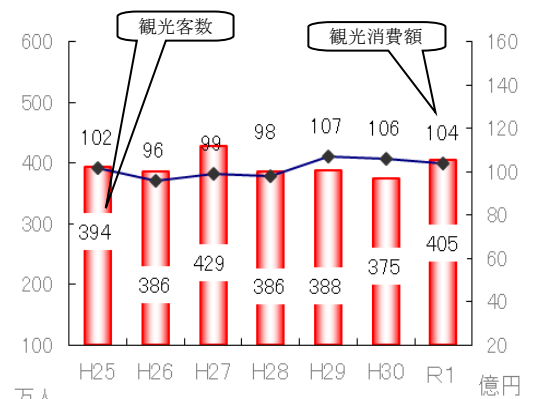
(5) 観 光

当地域への観光客数は延べ405万人(R元年)で恵まれた自然環境、豊かな食文化、温泉をはじめとした多様な観光資源が地域内に点在する小規模分散型となっており、観光客は中京圏・東海地域を中心に県外客が7割、日帰り客が8割を占める通過型の観光地となっています。

なお、一人当たりの観光消費額は県平均に比べ少なくなっています。

またインバウンドについては、中国、台湾等アジア方面及び東南アジア方面からの観光客が増加しています。

【観光客数・観光消費額】



※「観光地利用者統計調査」より

(6) 林 業

当地域の森林面積は約 16 万ha、森林率は約 86%で、  
 県平均の 78%を大きく上回っています。

3つの森林組合を中心に間伐や素材生産が進められて  
 いるほか、信州木材製品認証制度や森林認証制度の取得  
 など、木材利用促進の取組が行われています。

林業生産額は 4.9 億円（R 元年）で、特用林産物が約  
 半分を占めています。

近年では、地域課題である放置竹林の資源活用として  
 のメンマ加工や、野生鳥獣対策としてのジビエ利用の取  
 組も広がっています。

【林業生産額】

